

第 69 回全国高等学校 P T A 連合会

京都大会に参加して

8月22日(木)・23日(金)の両日、京都市で開催された第69回全国高等学校P T A連合大会京都大会に参加いたしました。他校のP T A、教職員の皆さんと前日の21日に高知を出発してのバス旅行は、興味深い大会内容に古都の散策もあり、大変充実したものとなりました。



初日に訪れた清水寺は50年に1度ともいわれる大規模な改修工事が行われており、お寺自体は工事用の幕にすっぽりと覆われていたのですが、「こんな機会もめったにないね」と言いながら拝観しました。また嵐山では渡月橋を眺めつつ、世界文化遺産である天龍寺に向かい「雲龍図」の参拝、庭の散策、そして嵯峨の竹林を抜けて大河内山荘へ・・・と、短い時間ではありましたが京都旅行の気分も味わうことができました。

大会では、開催地が京都ということもあってか、1万人近い参加者がいるということにまず驚きました。平安神宮のすぐ隣にあるメイン会場には収まりきらず、各分科会場に分かれて映像配信による開会式への参加となりました。式典では各県でP T A活動にご尽力された方々への表彰もあり、その晴れ晴れとした表情に心打たれる思いでいっぱいとなりました。

今大会では、今日的な6つのテーマで分科会が準備されていました。参加した第5分科会は「情報教育を体験する 現代の子どもが学ぶ情報教育を体験してみませんか?」というテーマで、LINE株式会社の西尾勇氣氏らによるワークショップが行われました。学校現場にいと、SNSによるトラブル等がどうしても気にかかり、便利ではあるもののマイナスなイメージでとらえがちになっていたものが、本来、東日本大震災のあと、人と人とがつながるためのコミュニケーション手段として開発されているものだと知り、まず驚いたことでした。そして情報化社会を生きる子供たちが情報モラルを身に付けることは欠かせないものであり、学校と家庭が連携をして取り組むべきであるとあらためて感じました。

2日目は「学校教育・家庭教育に思うこと」と題した記念講演が行われました。講師である日本電産株式会社 CEO である永守重信氏のパワフルかつユニークで歯に衣着せない物言いに、笑ったりうなずいたりとおっという間の1時間半でした。自宅で3人の従業員からスタートさせた小さな会社を世界に通用する大企業にまで発展させた背景には、目標を立て、常に前向きに、積極的に行動する姿勢があり、その姿勢が人を育てることに通じてい

るのだなと感じたことでした。

今回、年に一度開催されるこの大会に参加したことで、多くの情報を得ることができましたこと、感謝申し上げて報告いたします。

山田高等学校 山本 律子

